



○新人大大会地区予選水泳 50m自由形第2位、200m自由形第1位、100m自由形第3位、200m個人メドレー第3位、100m平泳ぎ第2位、200m平泳ぎ第2位 ○足利地区新人大大会地区予選会バドミントン大会 男子団体優勝、第60回足利市民総合選手権大会バドミントン競技 男子団体優勝、  
 ○足利地区新人大大会地区予選会バドミントン大会 女子団体第3位、第60回足利市民総合選手権大会バドミントン競技 女子団体第3位、  
 ○足利地区新人大大会地区予選会バドミントン大会 男子シングルス準優勝、男子ダブルス準優勝、男子ダブルス第3位、男子シングルス第3位、女子シングルス優勝、  
 ○第60回足利市民総合選手権大会バドミントン競技 男子シングルス準優勝、男子ダブルス準優勝、男子ダブルス第3位、男子シングルス第3位、女子シングルス優勝、  
 12月23日(金) ○バレーボール 中村議一杯 第3位、  
 ○第28回バドミントン会長杯団体戦男子優勝、  
 ○栃木県中学校新人体育大会(体操競技)1年女子個人総合(41.80点)準優勝、平均台(12.25点)準優勝、床(11.70点)第3位、跳馬(11.05点)第4位、段違い平行棒(6.80点)第5位、  
 ○栃木県足利地区特別支援学級児童生徒作品展 優秀賞、  
 ○中学生人権作文コンテスト銀賞、  
 ○第15回県南地区アンサンブルコンテスト 銅賞、  
 ○足利教育祭学校書道展 金賞、  
 ○第55回下野教育書道展銅賞、  
 入選、  
 ○栃木県男子バレーボールU-13選抜選手、  
 ○税に関する作文 会長賞、  
 ○第66回JA共済県下小中学生書道コンクール 佳作、  
 ○第26回足利学校絵画大会 足利市長賞、  
 ○足利市団体卓球リーグ(後期)男子3部優勝



### 第3学期始業式 生徒代表の言葉 皆、学々と素直な発表をした【発表内容の要：リモートで発表】

1年1組  
 3学期に特にがんばりたいこと2つ①定期テスト:2学期の中間、期末では目標に届かず、問題の解き直しや重要事項の暗記を中心に頑張る。②部活動:試合に出たときミスをして負けないよう日頃からの練習に真面目に取り組む。

2年1組  
 冬休みの反省:学習面;好きな教科を優先してしまった。生活面;生活のリズムが乱れた。3学期の抱負:3年生になった時、後輩の手本になれるよう判断力行動力を。部活ではプレッシャーに負けない強い気持ちを。スキー教室楽しむ。

3年1組  
 3学期にがんばりたいこと2つ。①自分の将来を考えて、受験勉強に励み、高校入試という試練を乗り越り自らを成長させる。②充実した学校生活を支えてくれた先生方、友人、様々な人に日々の生活の中で感謝を伝えていきたい。



### 始業式の講話より(二つのお話)

冬休みが終わり、3学期が始まりました。新年を迎え、皆さんは、今どんな気持ちでしょうか。今日は、相反する二つの話をします。

○新学期を迎え元気いっぱいまたはいつもどおりの皆さんへ。「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。これは、中国の明代、官僚であった馮應京(ふうおうけい)という方が中国の伝統的な年中行事や儀式、しきたりなどを解説した『月令広義』という書物に記した言葉という説や、戦国時代の武将、毛利元就(もうりもととなり)が長男にあてた手紙の一文で、教訓として伝えた言葉という説などがあります。また、New Year's Day is the key of the year.と英語にも翻訳されています。お正月はごろごろして、元旦には特に何も考えなかった、という人もいるでしょう。自分もそうです。ですが、心配はいりません。その意味するところは、「何事もまず初めに計画を立てることが大事である」ということです。今日でも、明日でも、いつでも、何かを始めようと決意したら、めざすところをイメージして、おおまかな見通しを思い描き、まずすべきことを一つ、二つ考え、まずは今日一日で何からスタートするか、そして、最初の一週間はどのようにするか、段階的に計画を立て、実行し、修正し、また実行しと継続していけるといいと思います。さらに、一つ付け加えるとよいのが、『整える』ということです。体調を整え、「よし、やろう」という気持ちを整え、学問や音楽、美術、芸能であるなら勉強する机や筆記具、楽器や用具を整え、運動ならその練習に使う場や用具を整える。年末に大掃除をする風習があるのも、整った環境で新年を迎えるためでしょうか。冬休みの12月26日、バレー部、バドミントン部、バスケットボール部が協力して、体育館の大掃除をしていました。まさに『整える』です。ほかの部の皆さんもそれぞれ活動の場を整えていたことと思います。たまたま見かけたので紹介しました。年頭に、「一年の計は元旦にあり」、自分のエンジンをかけて動き出してみましよう。○今、気持ちが落ちていて、「新年」という言葉に抵抗がある人へ。年末年始、12月31日大晦日、明けて、元旦、それはそれで、一日一日が終わり始まりの繰り返しの途中で、そう名付けられているだけです。ハロウィン、クリスマス、正月、節分、バレンタインデー、様々な日に名前があり、そのイベントに盛り上がる人もいれば、そのイベントのために不必要な孤独感、おいてけぼり感、むなしさを感じてしまう人もいます。でも、毎日とはただ大自然の中で連続して、何か特別なことがあるわけではありません。太陽の軌道により、毎日、ほんのわずかずつ、日の出、日の入りの時間が変化し、季節が、ここ日本では移ろいと、ただそれだけです。この寒い冬、春に開花する花々は地中で、または枝の一部でじっとその時を待っています。動くことも大切ですが、今の自分が一番大事です。無理をせず、ゆっくり、ゆっくり日々を過ごしてください。あせらずに、自分の気持ち、体を整えてほしいと思います。○学校は様々な思いをもった皆さんが集まっている場所です。今年も、隣にいるその人に自分の価値観をあてはめず、それぞれの思いを尊重していけたらよいと思います。



い 凍てついて 薄化粧の 校庭に 注ぐ陽光 葉の子ら踊る